

なか議会だより

2026
2.4
Vol.88

PRO
SKATEBOARDER
FARMER



TOPICS

特集

こんなことが決まりました
議案などの審議結果

一般質問

議会活動レポート

特集

二足の草鞋^{わらじ}で
目指す世界

プロスケートボーダー&農業従事者



那珂市議会広報委員会

右写真撮影：JUNPEI ISHIKAWA



市内の干し芋農家で1年間の修行を経て、令和7年5月から独立。

「試行錯誤が続くも充実した日々を過ごしています」
溢れる笑顔が印象的な美夢さんと莉奈さん。

地域とのかかわりは、農家さんが周りに多いのでアドバイスをくれたり、高齢で農業ができないので土地を使ってほしいといった話をいただいたり、よく気にかけてもらっています。

今では、自分で決めた目標に向かって少しずつですが手応えを感じていますし、知識やできることが増えてきたことで、移住する前よりもずっと自分に自信を持てるようになりました。

結婚を機に移住を決断してからは、最初はとてもホームシックになり、ゼロから作るビジネスは先が見えないことも多く、戸惑いもたくさんありました。しかし、目標を立てながらコツコツと日々農業に集中し、芋助さんでの1年間の研修を通じてやりがいを感じることができるようになりました。

二人の夢は、自分たちが作った干し芋をヨーロッパなどの海外に輸出し、日本のブランドとして世界に売っていければ最高ですね。

また農業では、休耕地で重機がないと進まないような場所もあり、最初の手入りを市がやってくれると、新規就農者のハードルが下がり、若い人もやってみようと思えると思います。

那珂市にどのようなことを期待しますか。
子どもたちの遊ぶ場所をつくってほしいです。今はスケートボードも主流になり、やってみたくもたくさんいます。僕も教えていきたいと思っていますし、子どもたちの夢を少しでも手助けしたいと考えています。街と自然が融和したスケートパークには、全国から人が集まってくるので、そういった施設ができればいいなと思っています。

INTERVIEW インタビュー

子どもたちの夢を手助けしたい



【スポンサー & サポートカンパニー】
・ CONVERSE SKATEBOARDING
・ SLD SKATEBOARDS

かわさき みゆう
川崎 美夢 さん

小学6年生のときからプロスケートボーダーとして活動。都内の建設会社に勤務していたが、結婚を機に夫婦で農業をやりたいと思うようになり妻の母方の実家である那珂市へ。プロスケートボーダーとしての活動を続けながら有機農業にも挑戦するなど、新規就農者として悪戦苦闘しながらも充実した日々を過ごす。

撮影：JUNPEI ISHIKAWA

—那珂市への移住を決断したご夫婦に聞く—

スケートボードの出会いとその後の歩みは、両親がサーファーだったこともあり、物心つく前の2歳からスケートボードを始めようでした。小学6年生でAJS A公認のプロライセンスを取得し、多くのコンテストに出場しましたが、中学生の頃に足首のけがで手術をしました。

その手術がきっかけで、スケートボードのストリート動画を頻りに観るようになり、次第に自分も動画を作ってみようという思いが強くなったことから、16歳の時に仲間たちと映像作品を作り始めました。その後、スケートボードの雑誌やメディアでも取り上げてもらえるようになり、現在ではサポートしていただいているスポンサーさんの板を使った作品を海外の有名スケボーメディアで取り上げてもらっています。

農業を始めたきっかけは、もともと小学生の時に経験したお米の収穫や畑仕事が好きだった思いがありました。

妻の実家がサツマイモやお米を作っていて、何度か収穫の手伝いをしてるうちに、自給自足の生活は無農薬で挑戦してみたいと考えようになりました。

最も苦労している点は何ですか。

まさに草との戦いです。農薬を使わず、菌を使っているのですが、どうしても菌ができてくるのかをいつも考えています。

移住前と後で、自分の考え方や価値観に変化はありましたか。

以前は始発で重い荷物を背負いながら電車に乗り、毎日決まった仕事をしていて、何か違うことがある中で、

こんなことが決まりました

令和7年第4回定例会は12月4日(木)から24日(水)までの21日間行いました。

- 市長提出案件 20件
- 請願・陳情 0件
- 議員提出案件 3件



令和7年定例会・臨時会HP



発議第3号

那珂市議会ハラスメント防止条例

那珂市議会ハラスメント防止条例が制定されました

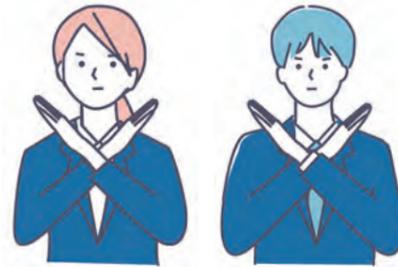
ハラスメントは、人の人格や尊厳を傷つける重大な人権問題であり、社会からの信頼を失う行為です。

議会運営委員会では、令和6年度から議員を対象としたハラスメントに関する勉強会を実施し、他市の取り組みも参考にしながら、ハラスメント防止条例の制定に向け協議をしてきました。

さらに、全議員で、相談窓口の明確化、第三者委員会の設置、相談後の対応の流れ、発生時の公表の在り方などについて慎重かつ丁寧な議論を重ねました。

その結果、市民の代表としてふさわしい品位と名誉を守り、ハラスメントの根絶と未然防止に取り組むため、「那珂市議会ハラスメント防止条例」を全会一致で可決・制定しました。

NO！ハラスメント！



発議第4号

那珂市議会会議規則の一部を改正する規則

議会広報編集委員会を再編し『議会広報委員会』へ

—もっと伝わる議会へ 情報発信を強化—

議会の情報発信をよりわかりやすく、効果的に行うため、これまでの議会広報編集委員会を「議会広報委員会」へと名称を変更し、機能を見直しました。

議会だよりやホームページ、SNSなどに加え、動画の配信など多様な媒体を活用した情報発信を進めていきます。

また、デジタル化の進展に対応し、ICT機器の操作研修や新たなアプリ・ツールの検討なども一体的に扱い、議会活動をより身近に感じてもらえる環境を整えます。

これからも市民への情報提供と議会の透明性を高めるため、市民に開かれた「伝わる議会」を目指して取り組んでいきます。



議案等の審議結果

議案等番号	議案等名	結果	議案等番号	議案等名	結果
報告19	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	—	議案75	令和7年度那珂市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案65	那珂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案76	令和7年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	可決
議案66	那珂市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	議案77	令和7年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	可決
議案67	那珂市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案78	令和7年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	可決
議案68	那珂市総合保健福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案79	令和7年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案69	那珂市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可決	議案80	令和7年度那珂市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案70	那珂市地域子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案81	令和7年度那珂市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案71	那珂市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	議案82	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案72	那珂市税条例の一部を改正する条例	可決	議案83	那珂市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案73	那珂市国民健康保険新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の支給に関する条例を廃止する条例	可決	発議3	那珂市議会ハラスメント防止条例	可決
議案74	令和7年度那珂市一般会計補正予算（第5号）	可決	発議4	那珂市議会会議規則の一部を改正する規則	可決
			発議5	「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める意見書について	否決

賛否が分かれた議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
	榊原一和	桑澤直亨	原田悠嗣	木野広宣	鈴木明子	渡邊勝巳	寺門勲	小池正夫	小宅清史	大和田和男	富山豪	花島進	寺門厚	萩谷俊行	笹島猛	君嶋寿男	遠藤実	福田耕四郎	
※議長（木野広宣議員）は採決に加わりません ○…賛成 ×…反対																			
発議第5号 「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める意見書について	×	×	○	-	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	否決

一般質問 Q&A

《質問者 12名》 次ページ以降の各議員の下にあるQRコードを読み込むと、一般質問の様子を見ることができます。

P 8 小宅 清史 議員

- ◇最先端企業に乗れ！市のPR&企業誘致に活かす
- ◇未来につなげ！今、常陸秋そばがアブナイ
- ◇観光振興の切り札！甦れ、伊勢又倉庫

P 8 桑澤 直亨 議員

- ◇県植物園を活用したプロモーション施策について
- ◇白土松吉ブランドの確立について

P 9 寺門 厚 議員

- ◇これからの那珂市の教育について
- ◇公営墓地の管理運営について

P 9 小池 正夫 議員

- ◇市内の地域福祉関係団体について
- ◇障害福祉サービスについて
- ◇道の駅を成功に導くためには

P 10 原田 悠嗣 議員

- ◇道の駅について
- ◇企業誘致について
- ◇人口減少対策について
- ◇瓜連庁舎について

P 10 遠藤 実 議員

- ◇バードラインの4車線化について
- ◇広聴機能の強化について
- ◇那珂フュージョン科学技術研究所とのさらなる連携について

P 11 鈴木 明子 議員

- ◇那珂市うまいもん会議～TREVI～について
- ◇児童、生徒、若年者への支援について
- ◇男女共同参画推進を考える

P 11 富山 豪 議員

- ◇観光戦略について
- ◇市営住宅の管理と今後について

P 12 渡邊 勝巳 議員

- ◇小中一貫教育について
- ◇防犯灯の整備について

P 12 大和田 和男 議員

- ◇物価高騰等の対策について
- ◇子育て支援施設の充実に向けて

P 13 花島 進 議員

- ◇自治体情報システムの統合問題について
- ◇国民健康保険税について
- ◇消費税の徴収・納入について
- ◇難聴者対策について
- ◇学校給食や保育園、幼稚園の給食費について
- ◇人事院勧告の市雇用職員の処遇への反映について

P 13 榊原 一和 議員

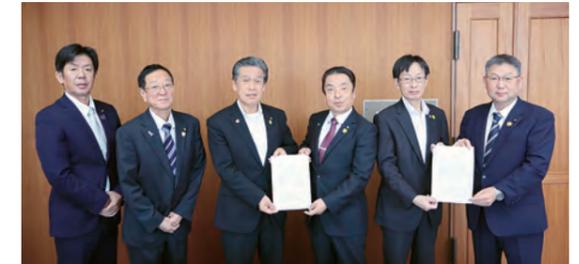
- ◇市民協働と環境を潜考する
- ◇地域活性化を潜考する

移住定住・人口減少対策と公共施設の在り方を調査

—市長へ要望書を提出—

総務生活常任委員会では、調査事項として「移住定住・人口減少」、「公共施設マネジメント」について調査をしてきました。

それらを踏まえ、委員会として要望すべき点を精査し、10月24日に市長へ要望書を提出しました。



【要望内容】

○移住定住について

- ・具体的な移住定住促進対策
- ・中長期的な視野と目標の明確化

○人口減少対策について

- ・若者支援
- ・子育て支援

○公共施設マネジメントについて

- ・専門的な組織配置及び職員の意識改革
- ・公民連携の検討
- ・市民への周知
- ・公共施設包括管理業務委託

不登校の現状と支援の在り方を調査

—市長・教育長へ要望書を提出—

教育厚生常任委員会では、調査事項として「不登校」を取り上げ、市内の現状や先進事例について調査を行いました。その調査を踏まえ、要望すべき点を精査し、12月24日に市長及び教育長へ要望書を提出しました。



【要望内容】

- ・実態調査方法の工夫
- ・保護者の交流の機会提供
- ・校内フリースクールの拡充と不登校児童生徒へのフォロー体制の拡充

- ・保護者相談機能の拡充
- ・地域連携型支援体制の構築
- ・補助金制度等を含めた支援策の検討

小宅 清史 議員

那珂市はそばの産地であり、そばによる活性化の可能性を探ってみます



Q 那珂市のそばの作付面積は県内で7位、収穫高で言えば県内3位と那珂市は輝かしいそばの産地ということが言えます。これは常陸秋そばの生産に尽力されてきた農家の方々の努力の賜物に他なりません。しかし問題の一つに生産者の高齢化、担い手不足があります。これらの現状の解決に何か取り組んでいますか。

A 産業部長 その農業担い手の確保については、「農業担い手確保・育成支援協議会MIRAI」により、新規就農希望者への農業知識、技術習得を含めた包括支援を行っています。

Q 市内には250町歩の休耕農地があります。耕作放棄地の受け皿として、「そば活用型農地再生モデル」

を那珂市で構築できないでしょうか。

A 産業部長 遊休農地の解消は、本市においてももちろん全国的にも大きな課題となっています。まずは先行事例を研究し、本市での取り組みの可能性を探っていきたいと考えています。



農林水産省「作況調査」データを基に議員作成

議員のひとこと

那珂市もそばをもっと地域活性化に利用すべき。

桑澤 直亨 議員

白土松吉を活用した新たなブランド戦略を展開しては功績を周知し産業振興に役立てる



Q 名誉市民となった白土氏の功績を市内外へと広くPRしていくために、市の表彰式典で「白土松吉賞」の創設を検討してはいかがでしょうか。

A 企画部長 「白土松吉賞」の創設は氏の功績を広く周知することに加え、話題性といった観点からも、効果的な取り組みであると受けとめますが、現行の表彰規則や他の名誉市民との整合性を考慮すると、現時点では新たな賞を創設することは難しいと認識しています。

Q 昨年提案した「白土松吉」の商標登録が今年の7月に完了しましたが、今後どのように活用していく考えなのか伺います。

A 産業部長 登録された

商標は、本市に加え、ひたちなか市や東海村を含めた地域の産業振興に活用してもらいたいとのご親族の意向を踏まえながら、生産者との協議を行い、サツマイモの神様「白土松吉」ブランドをどのように展開していくか考えていきます。

Q 名誉市民という貴重な資源の効果的な活用と政策的価値の観点から、白土松吉のキャラクターグッズを開発する考えはあるのか伺います。

A 産業部長 必要性や活用方法について多角的な検討が必要であると考えています。

議員のひとこと

現代に蘇る白土松吉の力が那珂市の未来を変えていく。

寺門 厚 議員

魅力ある那珂市の小中学校教育とは何か

小中一貫教育の実践と継続



Q 本市の教育は、地域と共に歩み、子どもたちの成長を支えてきましたが、少子化や進学先の多様化により、学校規模や学区の在り方を見直す時期がきており、20年先を見据えた教育の大転換点にきています。本市の小中学校の在り方はどのようにお考えですか。

A 教育部長 学校の目的は、児童生徒の能力を伸ばし、社会的自立の基礎や国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことです。規模の適正化の検討は、児童生徒の教育条件の改善を中心と据え、学校教育の目的や目標をよりよく実現するために行うものです。生徒数の減少、地域ごとの人口推移、校舎の老朽化等、様々な条件を勘案し検討し

ていきます。Q 将来も子どもたちに質の高い教育を提供するためには、学校規模の適正化を早期に議論し、市民と共に未来の教育像を描く必要があります。それには、市民・保護者・教育関係者・有識者が参加する「魅力ある那珂市小中学校の在り方検討会」の設置を要望します。魅力ある那珂市の小中学校教育とは何か伺います。

A 教育部長 本市の魅力である小中一貫教育を軸に社会的自立に向け、たくましく生き抜く児童生徒の育成実現、地域と連携し充実した学びを進めることです。

議員のひとこと

魅力ある那珂市小中学校の在り方検討会の早期設置を。

小池 正夫 議員

道の駅来客の市内観光ルートの取り組みは

市内観光拠点等との回遊性の確保



Q 本市の道の駅の建築アドバイザーである藤森氏は、本市の道の駅建設でも、市民参加型のワークショップのお考えはありますか。

A 産業部長 藤森氏はこれまで設計に携わった建築等において、さまざまなワークショップを開催し、好評を博しているとのことですが、藤森氏からは、本市の道の駅建設においても、市民参加型のワークショップや建設に関する催しなどを開催し、市民をはじめさまざまな人たちに関わってもらいながら一緒に道の駅を作り上げていきたいという意向も伺っています。市としても、市民に藤森建築の奥深い魅力に触れ、道の駅により愛着を持っていただける機会となると考えてい

ますので、子どもから大人までが参加できるワークショップ等の開催を今後進めていきたいと考えています。

Q 市内観光ルートの取り組みについて伺います。

A 産業部長 道の駅の整備やリニューアルオープンした県植物園の効果を生かしていく必要があると考えます。県植物園の指定管理者は、他の自治体と連携事例もあることから、体験プログラムの構築など、そのノウハウの活用に向けた協議を進めるとともに、必要に応じて国の補助制度を活用した中でICT技術の活用にも取り組んでいきます。

議員のひとこと

素晴らしい道の駅になるようお願いします。

原田 悠嗣議員

道の駅建設費は他の行政経費を削って捻出するのか



遠藤 実議員

バードラインの4車線化より生活道路の整備を優先に



持続可能な財政運営に取り組み

道路事業の優先度を適切に判断する

Q 市が負担する道の駅建設費について、今後の資材費の高騰や人件費の高騰を考えると、予定よりも負担が増えることも予測されます。現時点では、建設費の市の負担分は初年度の1億3000万円と、15年間6200万円ずつの市債の償還という予定になっています。これらの財源は一般財源を想定していることでした。一般財源から捻出するということは、他の行政経費を削るといことですか。

Q 藤森照信氏との契約は、最少の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬという市政運営の基本原則に基づき、競争入札を行うべきだったと考えます。税金で事業を行う立場を考えると、競争性や透明性を確保するためにプロポーザル方式やコンペ方式を取るべきだったと考えますが、どう考えますか。

Q バードラインの4車線化の事業費は約29億円ですが、物価資材高騰の折これで済むとは限りません。内訳として市は10分の4を負担しますが、これだけ多額の借金を、両側に自転車専用レーンや歩道まで付けて4車線化することは本当に必要でしょうか。

それよりも、各自治会やまちづくり委員会から生活道路に関する要望がたくさん上がっています。また、道路の舗装、拡幅、管理だけでなく近年の猛暑により除草作業の要望も格段に増えていると聞いています。新しく造るより、今あるものの維持管理を、という観点から、市内各地からの道路整備の要望を優先するべきではないでしょうか。

A 企画部長 道の駅建設に限らず、施設の建設等に係る市債の元利償還金は後年度の財政負担となることを踏まえ、公債費の推移を注視しつつ、各事務事業が計画的かつ効率的に推進で

A 産業部長 市議会へ報告を行うとともに、地方自治法及び最高裁判例に基づき、契約事務を行っていき

Q 茨城県での事業の進捗状況はどうなのですか。県の整備が進んでくればそれに合わせて整備しても間に合うのではないですか。

A 市長 幹線道路や生活道路など事業の優先度を適切に判断し、必要な財政措置に取り組み、整備を進めることで持続可能なまちづくりを推進していきます。

鈴木 明子議員

子どもたちが相談しやすい窓口の充実を



富山 豪議員

観光振興に対し、独立した課の新設を提案したい



ニーズに合う工夫をしていきます

ニーズを勘案し、適切に対応する

Q 児童生徒、若年者が、家族や友人に相談しづらい心や性、体に関する悩みの相談窓口を教えてください。

Q 子どもたちから直接相談しやすいように平日日中の電話相談だけでなく、周知、相談方法について工夫することは可能ですか。

Q 那珂市の観光客数の推移は、現在どのようになっていますか。

設を提案したいと思いますが、市長の見解を伺います。

A 保健福祉部長 健康推進課で対応しています。そのほか、「いばらき妊娠・子育てほっとライン」「チャイルドライン」や「子どもホットライン」などがあります。

A 保健福祉部長 QRコードを掲載し、メールからの相談がしやすいよう、工夫をしています。また、データ通信を活用するなど、子どもたちのニーズに合った方法を取り入れていきます。

A 産業部長 令和4年が17万4200人で県内35位、令和5年が18万1800人で37位、令和6年が12万8800人で38位となっています。

A 市長 県植物園のリニューアルや水戸ホーリーホックのJ1昇格に伴い本市にとってのチャンスが広がってきていると感じています。また、道の駅が完成する3年後を見据え、人を呼び込む施策は大変重要になってくると考えています。市の組織についても、今年度、道の駅整備課を新設するなど事業量を踏まえ適宜対応しているところで、引き続き事業の進捗、市民ニーズを勘案し柔軟かつ適切に対応していきたいと考えています。

Q 本人からはどのような悩みの相談がありますか。

Q 児童生徒に配布しているタブレットを活用することはできますか。

Q 直近の県植物園のリニューアルオープン、今後観光交流の中心となる道の駅計画、加えて水戸ホーリーホックのJ1昇格の経済効果などを合わせて考えると、本市は現在、大きなチャンスの中にあると思われ

この好機を最大限に生かして観光振興に繋いでほしい。

Q 子どもたちが、どのようなことで悩み苦しんでいるのか、茨城県と情報共有を行うことはできますか。

A 教育部長 今後はタブレットへの配信など、よりアクセスしやすい形で情報提供を進めていきます。

戦略を、本気で考える時期であると感じています。そこで、観光戦略に対してより専門的な独立した課の新

議員のひとこと

A 保健福祉部長 今後は協力を得ながら情報共有を図っていきます。

議員のひとこと

議員のひとこと

議員のひとこと

水戸農業高校から後台駅まで防犯灯の整備を願う



Q 総務生活常任委員会で市内高校生と意見交換をした際、「水戸農業高校から後台駅までの市道が暗くて危険なので対応してほしい」と要望がありました。防犯灯は市の要綱に則り、自治会で整備したが、まだ暗く危険です。防犯灯以外の照明の整備はできますか。

A 建設部長 横断歩道等に局部照明であれば現地を確認し整備が可能です。

Q 局部照明では十分ではない。市の防犯灯設置基準等に該当しないのは理解するが、平日千人を超える歩行者が通行するので、例外的に整備をお願いしたい。

Q この市道の防犯灯は設置できる上限まで自治会の負担で整備されています。しかも歩行者には市外から通学する高校生もあり、全てを自治会にお願いするのはいかなものかと考えます。歩行者の安全確保のため、今まで以外の手法での整備もできると考えるので、迅速な安全対策、照明の整備をお願いしたい。

A 市長 この市道沿道には教育施設が集積しており、日常的に歩行者が多いのは理解しているので、引き続き防犯灯を含む安心・安全な環境整備を地域と協働して推進します。

議員のひとこと
高校生を中心とする歩行者の安全確保を早急に願う。

これからの物価高騰対策の実施計画の中身は



Q これまで市では様々な物価高対策を施してきました。それらの交付金の効果検証の方法は。

A 企画部長 交付金の活用にあたっては、事業実施後に効果検証を行い、検証結果に留意して実施計画を国に提出しています。

Q 賃上げや労務費及び資材価格の上昇が著しいです。市の事業にも大きく影響を及ぼすことでしょう。これら高騰による事業計画への影響はどうですか。

A 企画部長 毎年度見直しを行う総合計画実施計画では、物価高騰等の影響等も考慮し、策定しています。

Q 高市内閣の経済政策に重点支援地方交付金の拡充が盛り込まれています。プラス要素だけではありませんか。

Q 私を含む消費者にとってガソリン税の暫定税率の廃止は喜ばしいですが、地方にとっては減収です。どう対応しますか。

A 企画部長 減収に対する国からの財源手当てがどのようになるか注視します。

Q 食料品の物価高対策に加え、自治会防犯灯電気代の恒久的支援、蓄電池、省エネ家電購入費、事業者のキャッシュレス決済導入費など将来の物価高に備えた場合の支援をしていただきたい。実施計画の見直しは。

A 企画部長 今までの取組みを基本とし様々な物価高支援を検討しています。

議員のひとこと
スピード感を持って公平性継続のある物価高騰対策を。

来年度の国民健康保険税はどのように考えているか



Q 数年間、国民健康保険税の税率を変えずにいましたが、支払準備基金の減少、医療費の増額、新しく始まる国の子ども・子育て基金への拠出があり、来年度は国保税の増額が懸念されています。

Q 数年間、国民健康保険税の税率を変えずにいましたが、支払準備基金の減少、医療費の増額、新しく始まる国の子ども・子育て基金への拠出があり、来年度は国保税の増額が懸念されています。まず、現在の国民健康保険支払準備基金の残高はいくらになりますか。

A 保健福祉部長 令和7年度当初の基金残高は約3億1100万円です。現行の国民健康保険税の収入では不足が見込まれ、支払準備基金から約1億6400万円繰入れ補填する予算を計上しています。全額取り崩すと、令和8年度当初の基金の残高は約1億4700万円になる見込みです。

Q 来年度の税率をどのよ

うに考えていますか。

A 保健福祉部長 このままでは支払準備基金が枯渇することから、令和8年度から税率を改正することを検討しています。また、令和8年度から子ども・子育て支援金制度に充てる費用を賦課徴収することになります。試算では、低所得者の負担が過大にならないように配慮し、それぞれの所得層の上昇額を慎重に確認しながら進めています。検討結果は1月に予定の国民健康保険運営協議会に諮問し、3月の議会定例会に提出する予定です。

議員のひとこと
国民健康保険には、一般会計からの繰入れを。

年2回の一斉清掃日に除草作業を併行しては



Q 市道の除草作業の年間計画策定と、年間の予算規模はどうなっていますか。

A 建設部長 市内を2工区に分け、年度当初に除草業務を委託しています。幹線道路や通学路では年1〜3回実施し、自治会等の申請に応じ直営でも対応しています。今年度は約8000万円計上しました。近年猛暑で草の成長が早まり、箇所や回数を見直し、結果、予算は年々増加しています。

Q 自治会等協定を締結の除草作業は、高齢化に沿った内容でしょうか。

A 建設部長 協定の内容は年2回以上の除草等を行い、報償金を支払うものです。作業者が高齢になってきている事は認識しています。相手方と協議し、実施

可能な内容で協定を締結するようにしています。

Q 除草効率化の機械化や、民間委託の拡大を検討されていますか。

A 建設部長 除草面積が年々増加傾向です。機械化で作業効率を高める必要は認識しています。今後、直営や業務委託を増やす必要があると考えています。

Q 年2回の一斉清掃日に除草作業を併行しては。

A 市民生活部長 地域によっては、一斉清掃と併せ道路脇の除草を行っているところもあります。安全面の確保、地域の協力などを整理していきます。

議員のひとこと
実施体制や支援の在り方など具体的な検討を進めて。

議会が開かれていないときも、各委員会で調査や、全議員で勉強をしています。
今号は、その中から4つをご紹介します。

その他の
議会活動レポート

滋賀県東近江市の「道の駅あいとう」は、値段よりも質を売りにしており、100%東近江市産の農産物を販売し、年間売上は約7億円にのびます。その中でも果樹の売上割合は43.7%と高く、常に出荷者と密に連携を取りながら、新鮮な農産物を提供しているとのことでした。館長からは、SNSでの発信力や各種イベントなどの取り組みが大切であるとの説明がありました。



【11/13滋賀県東近江市 道の駅あいとう視察】

産業建設常任委員会

また、本市の道の駅の建築アドバイザーである藤森照信氏が設計した「ラ コリーナ近江八幡」は、地域の特性や歴史的背景を踏まえた独創的な空間を作り上げており、施設の個性が明確に表現されていました。こうした施設の誘客力を高める斬新な建物づくりに向けて今後も委員間で協議し、市に要望していきます。



【11/14ラ コリーナ近江八幡視察】

茨城女子短期大学の皆さんと「保育・教育について」をテーマとし、議員と語ろう会を行いました。

現在学んでいる分野を今後どのように生かし、将来何になりたいか、具体的なビジョンを持っているかとも多くそれぞれの未来への思いを伺うことができました。

その一方で、実習に行ってみて業務の多さを実感したなど理想と現実のギャップ



【11/17茨城女子短期大学の学生と意見交換】

教育厚生常任委員会

や、社会に出てから人間関係やコミュニケーションが不安であるとの意見もありました。

また、実習等で行った市内の保育所や学童施設等の空調についての要望がありました。

さらに、短期大学周辺は他の学校も近いことから、通学路の安全対策や街灯設置、道路補修を求める声など、交通利便性向上に対し、貴重な意見を聴くことができました。



その他のご意見はこちらからご覧いただけます。

元原子力研究開発機構職員の山下清信氏を講師に迎え、「原子力の理解促進について」をテーマに原子力安全対策常任委員会主催の勉強会を開催しました。

勉強会では、医療や工業など身近な分野で利用されている放射線や、自然界に存在する放射線について学ぶとともに、放射線が人体に与える影響についての基本的な仕組みの説明を受けました。



講師 山下清信氏 【工学博士】

議員勉強会

あわせて、原子力発電の仕組みや、東海第二発電所における安全対策、運転や経営の見通しなどについても説明があり、参加した議員との間で質疑応答も活発に行われました。

今後も、那珂市議会として原子力についての勉強会などを通し、さらに知見を深めていきます。



【11/5 勉強会の様子】

市が検討を進めている可燃ごみ指定袋を現行の記名式から記名を任意化する変更案について、女性ネットワークなかの皆さんと議員と語ろう会を開催しました。

利便性向上や個人情報保護の観点から評価する意見がある一方、マナーの悪化を懸念する声や、記名により地域のルール遵守が保たれているとする意見も寄せられました。



【11/10女性ネットワークなかと意見交換】

総務生活常任委員会

また、ごみステーションの管理を担う方々からは、カラス被害への対策が大きな負担となっている現状が示され、「ステーション整備への補助も併せて検討してほしい」といった要望もありました。

委員会として、こうした多様な声を丁寧に受け止め、利便性、啓発活動、防犯面などを含めた総合的な視点で検討を進めていきます。



その他のご意見はこちらからご覧いただけます。

議会を傍聴しませんか

自由に見たり、聴いたりできるんです



令和8年3月定例会日程(案)

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (開会)	本会議 (議案上程など)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問など)	
8	9	10	11	12	13	14
			総務生活 常任委員会	産業建設 常任委員会	教育厚生 常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	原子力安全対策 常任委員会			議会運営委員会 全員協議会		
22	23	24	25	26	27	28
	本会議 (閉会)					

※会議は、原則として午前10時開会です。

傍聴方法

- 本会議の受付所 市役所3階傍聴席前
- 各委員会の受付所 市役所2階全員協議会室前
- 受付簿に年代及びお住まいの地域を記入してから入室

議会映像視聴方法

- 本会議、臨時会の様子をライブ配信しています。お手持ちのスマートフォンやパソコンで視聴できます。



請願・陳情の提出

- 3月定例会での審議を希望される場合には、2月20日(金)午後5時までに議会事務局へ提出してください。

那珂市議会公式SNS



編集後記

厳しい寒さが続き、冬の澄んだ空気が感じられる季節となりました。SNSなどのデジタルな手法が進み、偏った情報に危うさも懸念される昨今、紙媒体による丁寧な情報発信も大切だと感じます。市民の視点に立った魅力ある議会だよりが、暮らしと政治をつなぐ架け橋となり、「地域の声を代弁する」という議会活動を、より一層活性化させていきます。本年が皆さまにとりまして、輝かしい一年でありますことを祈念いたします。

寺門 勲

議会広報委員会

委員長 榊原 一和
副委員長 寺門 勲
委員 桑澤 直亨
委員 原田 悠嗣
委員 鈴木 明子
委員 富山 豪